



学生献血推進活動とは

学生献血推進活動は全国で行われている取り組みであり、日本赤十字社の血液事業を支えている活動のひとつです。当活動の中心は大学生を主とする学生ボランティアであり、血液センターとの密な関わりを持って活動しているという点では特殊な部類のボランティアとも言えます。

それではなぜ、学生の献血推進ボランティアが必要とされているのでしょうか。それは、特に若年層へ向けて、学生という歳の大きく変わらない立場から献血の呼びかけをするためです。

学生がショッピングセンターや大学構内で、献血の呼び込みをしていたらどう感じるでしょうか。献血がより身近に感じるのではないのでしょうか。そういった働きかけをできることを目指して、私たち献血推進に関わるメンバーは活動しています。

その学生献血推進ボランティアを行う三重県の団体が、三重県学生献血推進連盟(みえっち)です。これまでさまざまな活動を通して、赤十字や医療、そして地域や地域住民の方々との広い結びつきを築いてきました。この結びつきによって、献血への理解を示して下さる方を増やすのが、私たちの役割です。



連盟発足の背景と目的

2013年2月のみえっち発足以前、三重県立看護大学献血推進サークル「さくらんぼ」と、三重大学献血推進サークル「ヴァンパイア」が存在していましたが、この2団体だけでは次のような問題点が浮き彫りとなり、当連盟を発足させる運びとなりました。

- ① 各々の活動では場所が限られること
 - ② 三重県は人口が拡散しており、若年層の密度も分散されているため、小規模な団体ではアピールが不十分であること
 - ③ 県内での活動時に、地元の学校の人たちが活動協力をできるような団体が必要であること
 - ④ 全国では各県にひとつは学生献血推進団体があるものの、三重県では存在しなかったこと
- これらを基に鈴木英敬知事へ直接働きかけたことにより、各方面のご協力により発足することができました。

団体として大きなものへとなった現在、特に若年層の献血者数の増加を目的として活動しています。また同時に、活動に携わる学生たちも仲良く楽しめる環境づくりを目指して、組織としての在り方も考えて活動中です。





連盟メンバーの在籍校

- 三重大学
 - 鈴鹿医療科学大学
 - 四日市看護医療大学
 - 近畿大学工業高等専門学校
 - 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校
 - (活動協力学生団体：
三重大学体育会応援団、ヤングミドナサポーター¹⁾)
- 三重県立看護大学
 - 皇學館大学
 - 愛知淑徳大学



(※加盟対象者は、三重県在住、もしくは三重県内の学校へ通学する学生に限る)

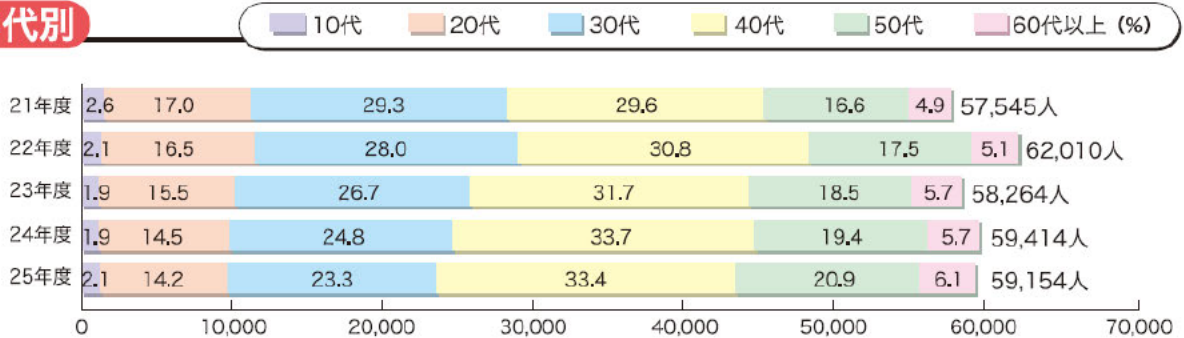
¹ ヤングミドナサポーター：県が高校生等学生を対象として募集・委嘱している献血推進ボランティア



三重県の献血の現状

献血者の推移

年代別



(<http://www.mie.bc.jrc.or.jp/themes/sekijyuji/ayumi/25kenketsu-ayumi.pdf> より引用)

上に示しましたグラフは、三重県における献血者数の推移となっています。全体の人数は、各年度概ね60,000名程度であります。内訳をみると20代や30代の方のご協力が年々減少していることがわかります。年度平均で概ね一定であるならば、一見問題はないように思えるかもしれませんが、実際はそうではありません。

三重県の10代~20代の若年者層の献血率は

全国最下位と言われているうえに、30代でもこのグラフのような状態であるため、今後の安定供給に支障をきたす恐れが大いにあります。

この現状を打破するために、血液の必要性や使われ方を発信し、献血への理解を求めていく必要があることがこれらのデータから言うことができます。また、その役目を担うのが我々みえっちという連盟なのです。



これまでの取り組み

○定例会

毎月1度、メンバーが三重県赤十字血液センターへ集まり、企画について話し合ったり、献血推進活動や血液事業等についての勉強会を行ったりしています。その他にも、企画や呼び込みに使用する看板等の作成もここで行っています。

○学内献血

県内の各大学にて学内献血の呼び込みを行っています。自分の所属している大学だけではなく、お互いに応援へ行き、一人でも多くのご協力を得られるように活動しています。

○キッズ献血

昨年の3月21日、10月4日の2回、幼児・小学生向けに企画を行いました。小さい



うちから関心を持ってもらうことで、献血可能年齢に達してから協力してもらうことを目的として実施しています。当日は大盛況で、将来に期待できる結果となりました。本年も3月21日にイオンモール東員にて実施予定です。

○近鉄四日市駅前呼び込み

近鉄四日市駅周辺にて献血の呼び込みを行っています。近鉄四日市駅前には献血ルームがあり、成分献血をできる環境が整っているため、それを広報しながら呼び込みを行っています。

○サマー献血キャンペーン

東海北陸地区の学生献血推進団体が同時に実施しているイベントで、三重県の当連盟でも実施しました。



夏らしく、浴衣や甚兵衛を着て呼び込みを行うことで、通行人の方だけでなく、私たちも楽しめるような企画としました。

○血液センター飾りつけ

ヤングミドナサポーターの高校生たちと協力して血液センターの飾りつけを行っています。季節に合わせた飾りがなされていますので、献血にお越しの際に目を向けていただくと幸いです。

○クリスマス献血キャンペーン

このキャンペーンは、全国の学生献血推進団体が

同時に実施しているイベントです。今年は、献血にご協力頂いた方からハート形の紙に一言頂き、雪ダルマ型のモニュメントへ貼っていきました。それと同時に私たちからも一言渡し、お互いに気持ちを伝えあえるような企画としました。クリスマスということで、サンタやトナカイの衣装に身をつつんで楽しく活動を行いました。

○Study of KENKETSU

昨年の12月27日に、イオンモール東員にて、学生を対象に献血の模擬体験をしていただきました。アストリムという針を刺さずにヘモグロビン量をチェックする機械や、最新の採血ベッド等を体験していただける機会ということで、親子や友達連れでブースへ来て下さる方が多数みえました。当日は、ヤングミドナサポーターや三重大学体育会応援団の方々にも実施者側として参加していただき、来場者へ献血に関する説明をすると同時に、自分たちの勉強の場にもしてもらえたことと思います。



地域との連携の状況

地域との連携は、当連盟が献血推進活動を行う中で最も重きをおくべきところであります。なので、以下の通り、個人だけでなく大学や企業、団体さんなどと広く連携させていただいています。



- ・ 県や市の保健所との連携
- ・ 学内献血に係る、各大学との連携

- ・ 献血呼び込みに係る、ライオンズクラブさんとの連携
- ・ 献血や献血推進イベント実施に係る、ショッピングセンターとの連携
- ・ ヤングサポーター募集に係る、学校との連携



私たちの活動は、この5つが主な地域との連携と なっていますが、ほかにも、けんけつちゃんとの 記念撮影で親子のライフイベントとしたり、地域 振興のために地元企業の製品を粗品としたりして

います。

献血という、医療に欠かせない活動を支えるボラ ンティアですので、地域住民の方々からの理解も 深く、かかわりは多方面に渡っています。



今後の予定・方向性

私たちが今後予定している大きなイベントとして、 イオンモール東員で実施される“キッズ献血”と いうものがあります。このイベントは、会場周辺 の幼稚園や小学校へ通う児童らへ予め広報をして おき、当日、献血の模擬体験を行ってもらうイベ ントです。

献血というのは、「採 血後に倒れそう」「針 が痛い」等々...あまり 良くないイメージが 先行しがちです。だか らこそ、血液は人工的



に生成できないこと、血液の使用できる期間は大 変短いことなどを小さいうちから伝えて、献血と いうものの存在や献血の大切さなどを感じてもら えるような企画にしたいと思っています。それと 同時に、親御さんにも献血について正しい理解を していただき、その後の継続的なご協力を要請で きるような機会にできることを目指しています。 このほかにも、“現在の取り組み”にて紹介した 「Study of KENKETSU」などの企画を行ったり、 献血をしていただいた方に継続的に来ていた だけのような取り組みを行ったりしたいと考えて います。

私たちは学生主体の団体であるということで、学 生間のつながりも大切にして活動したいと考えて います。三重大学、三重県立看護大学、鈴鹿医療 科学大学をはじめとする多くの学生が関わってい るのがこの団体の特徴でもあります。このみえっ ちという団体で出会えた運命。これを大切にして、

みんなが楽しく活動できるような環境を全員で作 っていくことを目指しています。

最後に一言。私たちが推進しているのは、献血と いう小さな行いではありますが、その先にあるの は人の命です。献血はできなくても、献血推進は 可能です。関わり方は自由で、無理なく参加でき ます。この活動に興味を持って下さった方は、ぜ ひご連絡をお願いします。(cspcbdm@gmail.com)